

2024-25 年度

ガバナー 公式訪問

クラブ協議会

と き 令和6年8月28日(水)
ところ ホテル・ヘリテージ飯能sta.

飯能ロータリークラブ 日高ロータリークラブ

★ディスカッション形式 14:00～14:45
◎司会 大野(泰)SAA

◎ラーニング・ファシリテーター紹介
(リーダー役：意見をまとめて発表する)

◎各卓ごとディスカッション
テーマ「RCに入って良かったこと」

◎ラーニング・ファシリテーターによる発表

●小川晃男会員（クラブ管理運営委員長）

約15、6名の方からそれぞれのご意見を伺いました。圧倒的に多かったのは、普段ならお付き合いのない異業種の方と知り合いになれた、いろんな知識が得られたということです。70歳になり他の友達は退職して寂しそうにしているけれど自分はたくさんの友達と例会に来られて嬉しい。仕事をしていて奉仕の精神というものを勉強するようになって、それが仕事に生かせるようになったというご意見もございました。異業種の方に限らず、自分よりも若い方、先輩と、年齢の上下を問わずいろいろなご意見を聴くことができた。行きたくても飲み会になかなか行けないのだからRCに居るといつも誘ってもらえて嬉しい。RCは奉仕団体なので、改めて

勉強はしていないのだけれども、その奉仕の精神というのが身体に沁み込んでくる、奉仕の精神を感じながら仕事ができるようになった。また、個人ではなかなか行けないような良い所にRCの親睦旅行ではたくさん連れて行ってもらった。元々飯能の出身ではなくて飯能に住むことになって、ロータリアンとして友達付き合いをする中で、飯能という地域の特性についてよく理解することができた。

まとまらないのですが、そういったいろんなご意見を頂いたところでございます。とにかく、異業種の方、年齢の上下を問わず、いろんな意見をお互いに聴けたこと。これが一番かなと思います。

●前島宏之会員（奉仕プロジェクト委員長）

第2グループ、楽しい時間を過ごさせて頂きました。小川さんと同じような内容なのですが、人との繋がりですね。まちで挨拶する程度の繋がりだったのが、例会に来ることで信頼関係が構築されて非常に良かった。そして、飯能出身ではなく、他の地区からいらっしゃるって会社を経営されている方は、人間関係が構築できたということをお話しておられました。それまで土日が休日だったのを、RCに入ってからRCに合わせて「水曜日」を休業日にしたという方がいらっしゃいました



(驚きの声)。RC本位で世の中が回っているような方でいらっしゃる、非常に有難い限りでございます。国際大会に行かれた方で、バナーを忘れてバナー交換ができなかった。海外へ行く時は必ずバナーを持って行った方がいいと言われていました。“ピラミッド”に行かれた方も非常に楽しい思いをされたということをおっしゃっていました(笑)。

いろいろございましたが、何と言っても素晴らしいのは人との繋がり、そして、自分がどれだけ世の中に貢献できるか、人間が成長したかを感じられるところが、RCに入って良かったことの一つだと言われていました。

また、これは「家庭平和」という意味のお話でしょうが、夫の居ない水曜日の昼食を妻がとっても喜んでいらっしゃるという方がいらっしゃいました(笑)。どなたとは申し上げませんが、夫人は「来週の水曜日は、じゃあ誰を呼ぼうか」とか考えていらっしゃるようです。「家庭平和」のためにもRCに入って良かったと解釈させていただきます。

●天ヶ瀬和弘会員（会員増強委員長）

C卓には若手の経営者と、大先輩が3名。多くの意見が出されました。最終的に、RCに対して、地域社会への貢献、新しい人脈の広がりを感じていることが分かりました。

意見としては、まず、RCに入って仕事をもらった。これはRCに入って信頼してもらえたということですね。続いて、仕事をしていて奉仕をする、その考えを意識してからは仕事のやり方が少し分かった、きちんとでき



るようになったと仰っています。この方は入会前から奉仕活動に興味があったようです。続いて、困った時に誰かに聞けば解決する。RCにはたくさんの方が居ますので、自分の仕事で困った時に相談にのってもらえるということですね。続いて、同年代、いろんな業種の人と出会えた。また、異業種の方と出会えて、いろんな考え方ができるようになった。地元の仲間ができた。何かあった時に相談できる。先輩の意見としては、若い人と仲間になれる。RCの人がお金を出して地域に貢献している。銀行がお金をスムーズに貸してくれる(笑)。匿名です。

個人的には、お金を集めるのが簡単になった、お願いするとすぐ出してもらえるということがあります。結果としてC卓では、たくさんのロータリアンと交流をもてることで勉強できる、仲間がたくさんできるということでした。

●川口 浩会員（公共イメージ委員長）

4番目くらいになると大体出尽くしてしまっているのですが、C卓の意見を聴いて、やはり若いメンバーが居るところの意見だなと感





じました。私達のグループでも多かったのが、多くの方と知り合うことができた。普段接することのできない、社会的に責任のある立場の人と親しくなれた。そういう人達と毎週定期的に会うことでちょっとしたことでも相談できる。「どうしようかな。今度の例会の時に聞いてみようかな」という感じでしょうか。そういうことが刺激になって自分の勉強にもなり、また、仕事にも役立っている。地元の出身ではないが、入会したことで多くの地元の企業の経営者、老舗のご主人、医師、弁護士、税理士の先生と仲間になることができたと仰った方がいらっしやいました。多面的に知識が広がった。地区に出向したり、他のクラブと交流することで、広い範囲でRCを理解できるようになった。MUにより友人の輪が広がった。実家のある東北の方のクラブに何回か出ているうちに、準会員に誘われているという方もいらっしやいます。中里(昌)大先輩からは、海外のクラブにアポなしで行っても歓待される。10名で訪問しても歓待された。私達のことを理解しようとしているので言葉なんかは大丈夫だよ、とのこと。薪能とか落語など、RCに入っていなかったら絶対鑑賞していないだろうというところに行ってみることができた。親睦旅行やクリスマス家族会に参加することを妻も喜んでいる。夫人同士でも親しくさせて頂いている。初対面の方でも「ロータリアン」と聞くと分かり合える感じがして安心感がある。

私達のテーブルでは、RCはとにかく楽しむことだということでした。

楽しむっていろいろあると思うのですが、例えばポール・ハリスの勉強をして、原書から読んで、日本と米国の関係をすごく知ることができて面白かった、と楽しんでいる方もいらっしやいます。何でもいからRCを楽しむ、ということがD卓の結論だと思います。

●白井 威会員(日高RC・クラブ管理運営委員長)

RCを通じて人脈が広がった。日高市内はもとより飯能市内のクラブと関わることで、多くのRCの方、いろんな年代、業種の方と知り合えたのが一番の財産だったかなということです。異業種の方と知り合うと何が良いかと言うと、僕は運送業なのですが、やはり困った時に多方面からの知識が得られるというのは財産かなと思っております。

RCに入っていると社会貢献をしているという自己満足感を得られる。また、皆さん言っていました、会員同士の親睦を深めることによっていろんな経験ができた、家族間、夫人同士も仲良くなったりと、いろんな相乗効果があると感じます。結婚・誕生日祝いの時にはプレゼントが年1回あって、夫婦のやり直しではないですが(笑)、元に戻るような効果があるかなとは思っています。職業奉仕の面で、「ロータリーの目的」で求められる「高潔性」を自分の仕事に生かして、自分の職業、自分の仕事を高めていけるという効果も良いなど言っていました。

そして何よりこの小さなバッジです。これがどこへ行っても効果を発揮するというのがあります。ナイアガラ滝に行ったらバッジをしていたら海外の方に声を掛けられたとか、ハワイに行ったら「うちの例会に來い」と引っ張り出されたのでそこでマジックを披露したとか、そういったいろんな可能性を秘めたバッジです。僕も以前、例会後、バッジをつけたまま品川まで債権者説明会に行き、たまたまエレベーターに乗ったら「おたくはどこRC?」と声を掛けられて、「日高RCです。例会を終わって来たのです」と話したら、その方は浅草のRCの方だったのですが、そのあと、債権者の込み入った話をするような関係になった時もありました。

先程、ガバナーの話の中にも、電車の中で声を掛けられたという話がありましたが、このバッジをつけているといろんな良いことが



感じられるかなと思いました。

最後に、RCに入って何が一番良いのかなというのは、企業人としてリーダーシップを身に付けるには一番良い訓練の場であるのかなと感じております。

◎五十幡ガバナー講評

どうでしょうか、皆さんが話したRCのストーリー、めちゃくちゃ面白かったですよね。RCに入って夫婦をやり直すことができた、バッジをつけていて債権者同士の集まりですごく親密にできたという話もありました。お金が借り易くなったという話もありました。これは皆さん笑うかもしれませんが、事業主としてお金をどうやって借りてくるかということは事業を大きくできるかどうかということです。レバレッジを効かせて事業を大きくするためには借り入れることもすごく必要ですので参考になったと思います。

皆様方のRCのストーリー、なるほどなと思いつつ聴かせて頂き、「入って良かったな」と改めて思いました。異業種間の交流ができた、年齢が上の方、下の方と一緒に、いろんな人の意見を聴くことができた、ネットワークをいろんな形で広げることができた等々。そしてRCらしさの表れというのは、お蔭で奉仕活動ができた、海外に行った時に例会に参加できた。また、リーダーシップの研修に行けたり、個人では行けなかったところに皆さんのお蔭で行けた、等。本当にそうだなと思いました。

RCに入っていた自分と入っていなかった自分を皆さん、考えてみて下さい。もしRCに入っていなければそんな経験は何もできなかったかと思います。RCに入っていたからこそ、そういった形で経験ができて、今、楽しい思いを皆さんと共有できる、皆さんと一緒に今、ここに居られるのも、RCに入っていたお蔭でございます。

こんなに良いRCなのに実は地区の問題として残念なのは、会員数が6月末に減ってしまったことです。

高丹年度の5月末の会員数は1,599名。1,600名ということで私も地区予算がやり易いなと思っていましたら、7月初めには1,537名と、62名減ってしまうことになりました。こんなに良いRCをやめてしまうのは本当に残念だと思います。もっと残念なのは、クラブごと、解散の決議をするというクラブも出てきてしまっていることです。

改めて皆さんには「本当にこんなにRCって良いじゃないですか」ということを是非メンバー同士で言って頂ければと思います。そして自分に「入って良かった」という思いがあればこそ会員増強の原動力になります。RCに入って「大変だ」とか「辛いな」とか「もうやめたい」と思ったら、会員を誘う力にはなりません。是非今日皆さんが話したこのストーリーを他のメンバーにも伝えて頂ければと思います。皆さんが今日は証人でございます。万が一、この中で退会を考えているという方が出た時には、「あの時、あんなにRCの良さを言ったじゃないか」と是非皆さんで説得して頂ければと思います。

残念ながらRCをやめる原因としては病気になってしまったとか、車の運転ができなくなったというのが多くあります。私達のエリアですと車の運転ができないとどこにも行けず、例会にも参加できなくなってしまうということがあるわけです。誰かにお願いして例会に出席することも大切なのですが、会費を続けて頂くだけでも、会長幹事としては予算繰りが大変助かります。ここにいらっしゃる皆様方が、命ある限りロータリアンとして、会員を続けて頂くことを皆様方にお願いしまして、本日の講評とさせていただきます。

本当に素晴らしい皆さんのクラブ協議会、有難うございました。